

——明日の神戸港——（神戸港港湾整備計画による）



昭和52年頃



昭和56年頃



昭和62年 8月

六甲アイランドの建設

船舶の大型化、物流システムの多様化に対応する港湾施設の建設と高度情報社会に対応した多種機能型複合都市として、ポートアイランドに次ぐ第2の海上都市を目指している。（昭和47年度着工、昭和65年度完成予定）



六甲アイランド完成予想図



設置が計画されているK.A.C.C.T完成予想図



高浜地区再開発計画完成予想図 ハーバランド計画のウォーターフロントとして近距離用フェリーベース等が計画されている。



設置が計画されているK. C. A. T完成予想図



摩耶埠頭再開発完成予想図 (昭和61年度～65年度)

第3突堤と第4突堤の間を埋立て、水深12mの3万トン級コンテナバースと水深7.5m 5千トン級内航フィーダーバースが新たに整備される。



ポートアイランド第2期完成予想図 (昭和61年度～70年度)

水深15mの大型コンテナバースやトランパーバース。さらには関西国際空港への海上アクセス基地(KCAT)などの港湾施設を整備し、併せて都市機能用地等を確保して現在のポートアイランドと一体となった海上都市を目指している。